



セダカヤッコ (Pomacanthus maculosus) と大サンゴ



ダイナマイト漁業

© Thomas Hoeger



© Roger K. Uzal

ダイナマイトによって壊されたと考えられるサンゴ (Pocillopora digitalis)

© Marc Kochzius

『行動の枠組み』

現在、サンゴ礁の危機的な劣化が世界的に進行しており、特に浅い沿岸域や人口密度の高い場所で深刻であることは、国際的に広く知られるところです。サンゴ礁を将来まで存続させるために、世界が協力してサンゴ礁とその関連する生態系の保護を推進していく必要があります。

サンゴ礁の資源の利用にあたっては、その生産・再生能力を超えない範囲で、持続的に利用する必要があります。そして、そのためには、国際社会が協力・連携していくことが必要です。ICRIは、各国政府や関係団体の活動を集結するための提言である「行動の枠組み」を1994年に採択しました。

「行動の枠組み」は、①持続的な管理、②研究・モニタリング、③サンゴ礁を有する国の能力養成、④サンゴ礁の定期的な評価の4つの要素から構成されており、これらの活動は、ICRIに参加する国、国際機関、NGOや、その横断的なネットワークによって実践されています。



持ち帰った魚を持つ地元漁師 © James Oliver

サンゴ礁の重要性

サンゴ礁は、地球上の100を超える国（及び地域）における10億人以上の人びとに、食料や生活のための資源を供給しています。



健康なサンゴ礁の生態系 © Arjan Rajasuriya

サンゴ礁への脅威

地球温暖化、環境汚染、破壊的漁業、持続的でない沿岸開発などの人間活動による影響は、サンゴ礁に対する最大の脅威になっています。



ダイビングスポット「ゴブリン」 © Mark Prehn

脅威を軽減する

ICRIは、サンゴ礁保全に関する普及啓発を進め、国レベル・地域レベル・世界レベルでのすべての関係者の活動を集結することにより、サンゴ礁をより健全な状態にすることを目指しています。



サンゴ礁保全プロジェクト © National Geographic

<http://icriforum.org>

写真提供：リーフベース
(<http://www.reefbase.org>)